

科目名	日中比較社会論特殊研究	担当者	タカツナ ヒロフミ 高 綱 博 文	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本講義では、上海における日本人コミュニティの 150 年の歴史を主要なテーマとするが、併せて日中関係への視座を構築することも目的とする。中国の改革開放の最前線として未曾有の繁栄を誇る「国際都市」上海には、戦前最も多い時には約 10 万人の日本人が在留した。上海「共同租界」の一角には日本人コミュニティが形成され、日本人居留民は中国社会のただ中に生活していた。本講義は戦前における上海日本人コミュニティの形成・発展・崩壊の歴史過程を中心に講述しながら、日中関係における「敵対」・「依存」・「相互理解」の錯綜した関係を歴史具体的な事例を通じて考察する。それによって、歴史的視点とより正確な歴史像把握の方法を身につけ、問題発見・解決力、省察力、世界の現状を理解し説明する能力の獲得を目指す。		
到達目標	【一般目標（GIO）】 本講義は、基本教材として内山完造『花甲録』及びホワイトニング『中国人の日本観』を取り上げ、日中関係史を歴史的に理解し、歴史学による実証的且つ批判的な研究方法論を学修する。 【行動目標（SBOs）】 日中関係の歴史について現代的な視点から考察し、日中関係の新たな未来を創造することのできる人材を育成する。 【準備学修項目と準備学修時間】 現代中国や上海に関する映像などを多く視聴し、今後の日本が中国といかに向き合うかについて考える。 準備学修時間：3 時間		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 - manaba folio の掲示板を利用し、受講者同士の協働学習を行う（課題図書等に関する受講者同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等） - OER を視聴し、レポートを作成する。 【学修方略（LS）と学修時間】合計で 1 レポート当たり 45 時間程度の時間を要す （自主研究）教材及び参考文献の検索と熟読 （レポート作成）レポートの作成・レポート推敲 （ディベート）掲示板上のディスカッション、ピア・レスポンス（受講者同士で互いのレポートにコメントをし合い、推敲する協働活動）		
スケジュール	前期：基本教材の内山完造『花甲録』を学修し、前期レポート課題については学事歴で定められた日まで提出する。 後期：基本教材のホワイトニング『中国人の日本観』学修し、後期レポート課題については学事歴で定められた日まで提出する。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	75%	教材理解度 15%, 論旨の一貫性 15%, 要約力 15%, 表現力 15%, 解釈の妥当性 15%
	観察記録	25%	ピア・レスポンスへの参加度、レポート添削への対応等
履修者への要望	教材を学修してレポートを作成する際には、学術論文を作成するトレーニングであるとの自覚に基づき社会科学の方法論を積極的に学修しようとする熱意を持つことを要望する。 なお、最終レポートは学事歴で定められた日まで提出して下さい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 内山完造 教材名： 『花甲録』（平凡社, 2011 年）ISBN:978-4-58-280807-0 3,300 円+税
	本書は戦前の上海において内山書店を経営し、また日中友好と日中文化交流のかけ橋の役割を果たした内山完造の自伝であり、そして本書は上海日本人居留民社会史の最良のテキストである。
参考図書	高綱博文『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版, 2009 年） ISBN:978-4-87-636297-4 6,500 円+税
履修上のポイント	内山完造の自伝『花甲録』を、異文化社会としての中国社会と格闘した一人の日本人商人の記録として読むことができる。即ち、彼がどのように中国社会への理解を深め、多くの中国人の信頼を勝ち得て、中国でのビジネスに成功したのかについてテキストから読みとっていただきたい。
レポート課題 1	内山完造の中国社会認識とその変化について論述しなさい。 留意点：『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。
レポート課題 2	内山完造が上海で書店経営に成功した要因について考察しなさい。 留意点：『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： アレン S. ホワイティング 教材名： 『中国人の日本観』（岩波書店, 2000 年）ISBN:978-4-00-600013-4 1,365 円+税
	本書はアメリカの中国研究の碩学であるホワイティングが日中両国の多くの人々との対話を通して、中国人の日本観とそれを規定する思考様式を分析したものである。
参考図書	毛里和子『日中関係』（岩波書店, 2006 年）ISBN:978-4-00-431021-1 800 円+税 入江昭『日中関係 この百年』（岩波書店, 1995 年）ISBN:978-4-00-001712-1 2,330 円+税
履修上のポイント	本書の特徴は、日中関係を第三者の目で分析したことにある。そして、中国における広範なインタビュー及び文献調査によって中国人の日本認識をできるかぎり明確にしようとしている。第三者から見た中国人の日本イメージを批判的に検討することを通じて、各自の日中関係への視座を構築することに努めること。
レポート課題 1	テキストに描かれた中国人の日本イメージを要約し、そのイメージの形成要因について考察すること。 留意点：ホワイティングが提示している論点を日本人の眼から検証すること。
レポート課題 2	テキストの分析を踏まえて日中関係が「歴史の負の遺産」から脱却する途について考察すること。 留意点：現実の緊張する日中関係を踏まえて考察すること。

基本教材 1

第 1 回	教材及びシラバスを読み、学修課題と学修方法を理解する
第 2 回	教材『花甲録』の学修
第 3 回	参考文献『「国際都市」上海のなかの日本人』の学修
第 4 回	課題 1 の資料検索と分析
第 5 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 7 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 8 回	教材『花甲録』の学修
第 9 回	参考文献『「国際都市」上海のなかの日本人』の学修
第 10 回	課題 2 の資料検索と分析
第 11 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 12 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス
第 14 回	レポート課題 2：最終稿の作成
第 15 回	まとめのディスカッション

基本教材 2

第 1 回	教材及びシラバスを読み、学修課題と学修方法を理解する
第 2 回	教材『中国人の日本観』の学修
第 3 回	参考文献『日中関係』・『日中関係の 100 年』の学修
第 4 回	課題 1 の資料検索と分析
第 5 回	課題 2 の資料検索と分析
第 6 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 9 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 10 回	教材『中国人の日本観』の学修
第 11 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 12 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス
第 14 回	レポート課題 2：最終稿の作成
第 15 回	まとめのディスカッション